

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202
担 当 教 員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に従事)			
《授業科目における学習内容》						
上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。						
《履修に当たっての留意点》						
在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	学年の位置づけを理解し、目標を設定すること。	配布資料	各自で前学年次の総合的な振り返りを行うことが必要である。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	目標を理解して、各々の行動計画を立てる。	配布資料	振り返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修が終了した分野について、参照する資料を考察することができる。	配布資料	前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	2年次履修状況の確認			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修内容について科目横断的な理解が出来る。	配布資料	学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。	
		各コマにおける授業予定	2年次履修状況の確認			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修が終了した科目について、科目横断的な理解をし、使用した各テキストの記載内容が理解できる。	配布資料	各テキストの確認を行なう。	
		各コマにおける授業予定	2年次履修状況の確認			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	履修が終了した科目について、科目横断的な理解をし、使用した各テキストの記載内容が理解できる。	配布資料	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	2年次履修状況の確認		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	肩関節部の損傷-肩甲骨の骨折		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折1		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折2		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折3		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩関節における外傷を把握し、後療法を習得する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肩関節部の損傷-上腕骨近位部の骨折4		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕部の解剖と機能を復習し、理解を深める。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	上腕部の損傷-解剖と機能		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折1		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折2		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	上腕部における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	上腕部の損傷-上腕骨骨幹部骨折3		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	基礎柔道整復学・概論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202
担当教員	澤 卓実	実務経験と その関連資格	専科教員(平成22年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成29年)、附属接骨院(平成19年～平成26年:柔道整復業務に従事)			
《授業科目における学習内容》						
上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。希望があればキャリアセンター等で情報を収集することも可能である。						
《履修に当たっての留意点》						
在学などに留まらず各種行事にて、柔道整復師としての活動を理解することが必要となる。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節の解剖と機能を復習し、理解を深める。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-解剖と機能			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-上腕骨遠位部の骨折1			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-上腕骨遠位部の骨折2			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	肘関節における外傷を把握し、後療法を理解し後療法ができるようになる。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-上腕骨遠位部の骨折3			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-前腕骨近位部の骨折1			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部における外傷を把握し、救急処置法を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	肘関節部の損傷-前腕骨近位部の骨折2		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部の解剖と機能を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	前腕部の損傷-解剖と機能		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部における外傷を把握し、病態を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	前腕部の損傷-前腕骨骨幹部骨折1		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕部における外傷を把握し、後療法を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	前腕部の損傷-前腕骨骨幹部骨折2		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部の解剖と機能を理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	手関節部の損傷-解剖と機能		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部における外傷を理解し、病態を把握する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	手関節部の損傷-前腕骨遠位端部骨折1		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部における外傷を理解し、後療法を身に付ける。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	手関節部の損傷-前腕骨遠位端部骨折2		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	手関節部における外傷を理解し、後療法を身に付ける。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	手関節部の損傷-手根骨部の骨折		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	手・手指の解剖と機能を復習し理解する。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。 必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	手・指部の損傷-解剖と機能		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	手・手指における外傷を理解し、後療法を身に付ける。	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	手・指部の損傷-中手骨部の骨折		